ともに芦

～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～
小城市立小中一貫校芦刈観瀾校学校便り
第15号　令和8年10月28日（水）
文責　：　副校長　深川　治孝

文化発表会　One Team　～心を一つに　最高の感動を～

10月23日（金）、令和8年度第13回文化発表会が行われました。

2学期に入ってすぐに文化発表会実行委員会が立ち上げられ、委員を軸に、全校児童生徒がこの日まで一生懸命に計画、準備、練習に励んできました。実行委員会の映画館キャラによる「オープニングセレモニー」から始まり、「少年少女の声」の発表、各学年の「合唱」、全校合唱、8年生による学習発表、7、9年生による「劇」、そして「エンディングセレモニー」など、多彩なプログラムで実施されました。また、今年の「展示発表」は、中学部のみ行いました。どの学年の発表においても、子供たちが目を輝かせ、一生懸命、心を一つに取り組んでいる姿が見られました。その姿に、会場全体が充実感と感動に包まれていました。

また、物品販売のコーナーでは、のびのび学級とのぞみ学級の子どもたちが気持ちを込めて作った、素敵な小物の販売が行われ、とてもにぎわっていました。

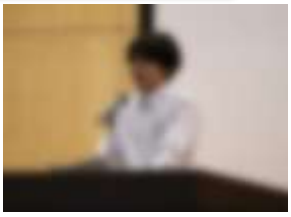
ご参観いただきました保護者の皆様、地域の皆様方、本当にありがとうございました。



実行委員会　オープニングセレモニー




少年少女の声

1年　うたえ　バンバン



2年　あおいそらに　えをかこう



3年　とどけよう　この夢を



4年　小さな世界



5年　マイバラード



6年　Believe



7年 明日への扉



8年 愛唄



9年 カイト



のびのびショップ



全校合唱 ふるさと



7年 カラフルピース
～僕らの青春ドタバタ劇場～



8年 職業体験で学んだこと
～僕らの二日間～



9年 夕焼け色のアジト









全校集会（2学期中間）

10月28日（水）、小中学部全校集会が体育館で行われました。

「学校はだれのものですか？」という校長先生の質問からお話が始まりました。ある中学校で、学校のあるルールに疑問をもった生徒たちが、学校生活をよりよいものにしていきたいという思いから、自分たち（生徒会）で行動を起こし、全校アンケートなどを実施して自分たちでルールを変えたというものでした。校長先生は、しっかりとした手順を踏み、何のために、だれのために行うのかを自分たちでアイデアを出し、周りに伝えてみようと呼び掛けられました。芦刈観瀾校の一人一人、それぞれの学級や学年、児童会や生徒会で考え、学校をもっとわくわくするものにみんなでしていきましょう！ と、子供たちの実態に応じた「自治活動のすすめ」についてのお話でした。子供たち、職員だけでなく、保護者、PTA、地域の皆様の力を合わせて取り組んでいけたらいいですね。



